

テレマティクスを活用した課題解決取り組み

当社では、テレマティクス技術・データを活用し、自治体・警察等の皆さまとともに、様々な地域・社会課題解決を進めています。

テレマティクス技術を活用した交通安全イベント(テレマタグイベント)

全国で累計230回以上開催

※2023年度実施回数

専用アプリと車載器(テレマタグ)を地域住民・企業等に配布し、安全運転スコアを競うイベントを自治体や警察と共催しています。

参加者の運転特性に合わせた安全運転の診断・スコア・アドバイスを提供し、参加者の運転技術向上につなげます。



安全運転によって削減できた「CO₂排出量」も可視化

過去1か月分の「安全運転」によって削減できたCO₂排出量や「節約できた燃料消費量」を当社独自のロジックにより算出しフィードバック

参加者の走行データをもとに、地域の危険箇所を見える化したマップを作成。自治体・警察へ提供しています。



Web版テレマティクス交通安全マップ

テレマティクス自動車保険の契約データをもとに、「急減速発生率」に基づく地域の危険箇所候補と「走行量」を可視化したマップを自治体・警察に無償提供します。さらに、本マップを教材に、小学生を対象にした交通安全授業も開催しています。

「急減速発生率」「走行量」が多い箇所を可視化したマップにより、一目で危険箇所候補の把握が可能になります。



当社社員や代理店が講師となり、小学校低学年地域のマップと危険な道路の写真を基に「なぜ危険なのか」「どこに注意する必要があるのか」を児童が自ら考え、主体的に対策できるようにするための授業も開催しています。



保育版交通安全マップ

累計7,000箇所の施設に提供

※2023年度実施回数

施設周辺の交通量・急減速発生率を表示したマップを保育施設に無償提供しています。

2023年4月の児童福祉法改正で保育所等に義務化された「安全に関する事項についての計画」の策定を支援。交通安全等を示した保育版交通安全マップの提供により、本計画に盛り込まれる園外活動(散歩コース等)の目的地や経路の安全点検に貢献します。

本マップは、防災消費利活動家入キッズデザイン協議会が主催する第17回キッズデザイン賞の「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門」に入賞しました。



ADテレマアナリティクス

希望に応じて柔軟にテレマティクスデータを提供します。

富山県警察の事例

富山県警察の公式アプリ「とやまポリス」に、各ブレーキ発生率に関する統計情報を提供。被害が保有する交通事故データと、急減速発生情報をアプリ内の地図検索機能に可視化することで、交通安全無害に貢献しています。



路面状況把握システム

テレマティクスデータにより路面の異常を推定検知することができます。

テレマティクスデータ(上下振動のデータ)の活用により、路面の異常箇所を推定検知し、地図上に表示するシステムを自治体等に提供。異常箇所の早期発見や道路修繕対象箇所のモニタリング等に活用できるため、効率的かつ効果的な道路維持管理に貢献します。

